

概要版【国語科】

国語科「書くこと」において、自分の考えを相手に伝えるように表現できる児童の育成 —三つのピア活動の設定と書き表し方の工夫について児童とともに考える活動を通して—

令和4年度 前橋長期研修研究員 井上 若菜

研究の概要

主題設定の理由

小学校学習指導要領（平成29年告示）解説国語編

- ・自分の考えを形成するという学習過程がより一層重視され、指導事項も明確に示された。「書くこと」の「考えの形成」には、「自分の考えを明確にし、書き表し方を工夫すること」と示され、自分の考えを伝えるために、記述の仕方を工夫することが求められている。

令和4年度全国学力・学習状況調査

- ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して文や文章を整えたり、自分の文章のよいところを見付けたりすることに課題がある。

児童の実態

- ・自分が書いた文章を読み返してよさや改善点を見付けたり、相手や目的に応じて書き表し方を工夫したりしようとする意識が低い。

教師の指導の実態

- ・一斉指導だけでは、教師の支援と指導が十分に行き届かず、書き表し方の工夫に関する具体的な指導や、読みに意識が向くような働きかけが十分にできていない。
- ・「推敲」の過程において、教師による添削が中心となり、児童自らが自分の考えたことや思いが相手に伝わるかという視点で読み返すような活動になっていない。

目指す児童の姿

児童が自分の考えを明確にし、相手や目的に応じて書き表し方を工夫しながら表現している

研究のねらい

国語科「書くこと」において、自分の考えを相手に伝えるように表現できる児童を育成するために、三つのピア活動の設定と書き表し方の工夫について児童とともに考える活動が有効であることを、実践を通して明らかにする。

研究の見通し

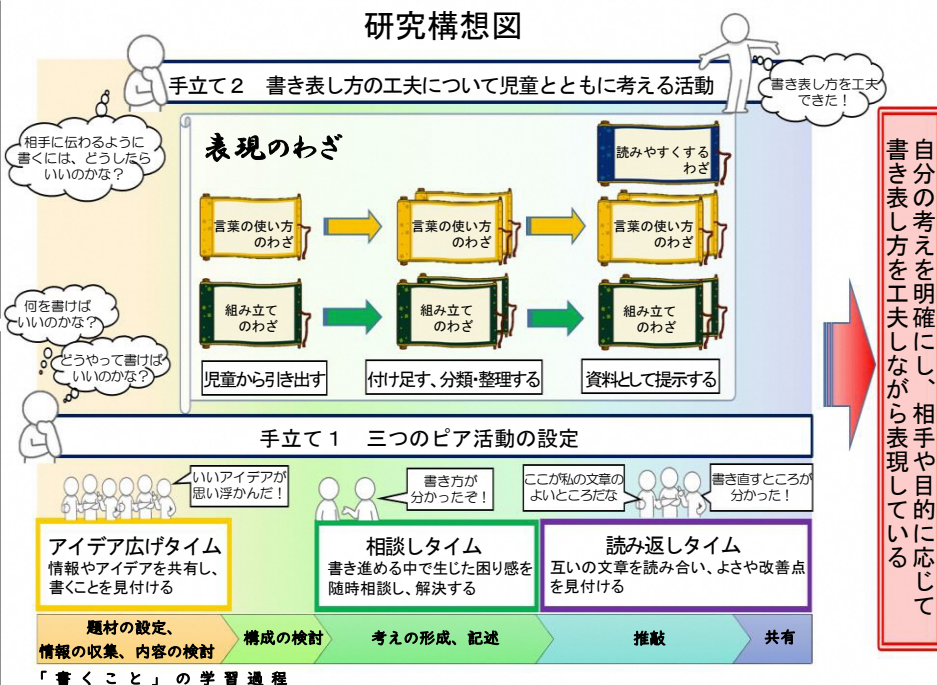
手立て1 三つのピア活動の設定

ピア活動とは、「児童が対話を通して協働的に学んでいく活動」である。「書くこと」の学習過程それぞれで生じる児童の困り感を解決するために、「アイデア広げタイム」「相談しタイム」「読み返しタイム」の三つのピア活動を設定する。その中で教師が児童の活動状況を見取り、適切に関わっていく。

手立て2 書き表し方について児童とともに考える活動

相手や目的に応じて書き表し方を工夫できるようにするために、書き表し方の工夫について考える活動を単元の中に位置付け、児童から書き表し方の工夫を引き出していく。単元を進めていく中で引き出した新たな工夫も付け足して分類・整理したり、資料として児童に提示したりする。

研究構想図



実践の概要

第3学年 組み立てにそって、物語を書こう（たから島のぼうけん） 全12時間

目標・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。【知(1)オ】

- ・書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。【思(1)イ】
- ・書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。【思(1)オ】
- ・粘り強く構成や表現などを工夫しようとし、学習課題に沿って、読む人に楽しんでもらえる物語を書こうとする態度を養う。【態】

【本単元における手立ての位置付け】

時数	学習過程	手立て1	手立て2
1	題材の設定、情報の収集、 内容の検討	アイデア広げタイム	
2			
3			
4	構成の検討		書き表し方の工夫を児童から引き出す
5			
6			
7	考えの形成、記述 (下書き)	相談しタイム	書き表し方の工夫を付け足す、分類・整理する
8			
9			
10	推敲 (清書)	読み返しタイム	書き表し方の工夫を資料として提示する
11			
12	共有	読み返しタイム	

手立て1 三つのピア活動の設定

「書くこと」の学習過程それぞれで想定される児童の困り感を解決するために、「アイデア広げタイム」「相談しタイム」「読み返しタイム」の三つのピア活動を設定しました。

アイデア広げタイム

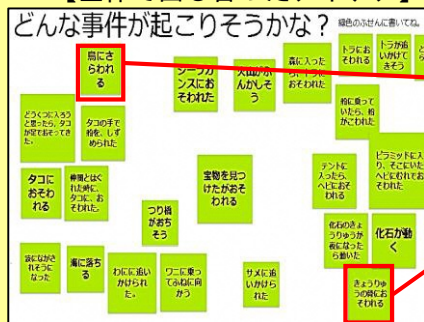
みんなでアイデアを出し合って、書くことを見付ける



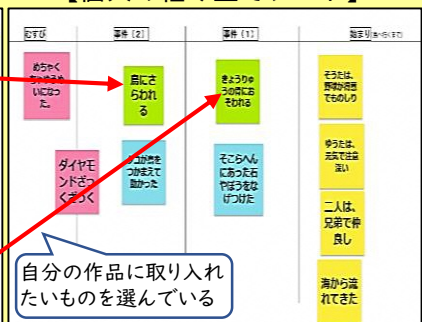
何を書けばよいかわからない

物語の組み立てとあらすじを考えやすくするために、宝の地図から想像したことをJamboardに出し合い、クラス全体で共有し、誰でも選んで使えるようにしました

【全体で出し合ったアイデア】



【個人の組み立てシート】



題材の設定
情報の収集
内容の検討

構成の検討

相談しタイム

「分からない」を「分かる」に変える



どうやって書いたらよいのかな？

【同じグループの子と相談】



児童が困り感を感じたときに、いつでも友達と相談し合えるようにしました



「アイデアの泉」を設置し、誰でも自由に集まれるようにしたり、書き方や発想のヒントを得るための補助資料を用意したりしました

【「アイデアの泉」の設置】



【「アイデアの泉」に置いた補助資料】

宝島の地図の拡大図、紙人形、絵本、書き方に関するヒントカード



書き出しに何を書けばよいのかな？

【「みんなで相談しタイム」でのやり取り】

教師：書き出しに困っている子がいるので、「みんなで相談しタイム」を取ります。「始まり」の書き出しをどのように書きましたか？

A児：「ある夏の日」と書きました。
教師：時間では始めたのですね。
B児：「太郎と花子は」から書き始めました。
教師：人物の紹介から書いたのですね。
C児：「ある国に」と書きました。
教師：場所から書き出したのですね。このように、時間や場所、人物から書くと「始まり」の部分が書けそうですね。

多くの児童に共通する困り感や課題を解決するために、学級全体で話し合う時間を設定しました



考えの形成、記述

読み返しタイム

自分の文章のよいところ・直した方がよいところを見付ける



自分の書いた文章は、相手に伝わるものになっているかな？

よさや改善点を見付けることができるようにするために、読み返し観点と伝え方について確認した後、グループで文章を読み合う時間を十分に確保しました

【読み返し観点(抜粋)】

- 様子や気持ちを表す言葉を使っているかな？
- 「言いました」がつづいていないかな？
- 一文が長くて読みづらくなっていないかな？

【伝え方(抜粋)】

- 人物の様子が書けていていいね！
- さいごの終わり方がおもしろいね！



会話がなくて、人物の様子が分かりやすいね

ここは、一文が長いと思うよ

自分の文章のよいところや書き直したいところが見つかったぞ！

推敲

共有

手立て2 書き表し方の工夫について児童とともに考える活動

ア 書き表し方の工夫を児童から引き出す

児童が書き表し方を工夫する必要性を感じ、かつ自らアイデアを出せるようにするために、教師が作成した組み立てシートの例を提示し、「何か書き足した方がよいことはありませんか」と問いかけました。

【教師が作成した組み立てシート】

むすび	事件(2)	事件(1)	始まり(島へ行くまで)
水晶玉が入っていた	こうもりにおそわれる	ワニに追いかけられた。	二人はおさななじみでなかよし
二人は、もつとなかよくなりました。	虫よけスプレーでおいはう	つばさが石をけて、ワニに当てる	つばさは、サッカーがとくいで、ゆう気がある
			まなが部屋をそうじしているとき、押し入れから出てきた。
			まなは、物知りでおくびょう

【全体での教師と児童のやり取り】

教師：何か書き足した方がよいことはありませんか。

D児：このままだと、家の中にワニがいることになっているから、部屋から島へどうやって行ったのかが必要。(島への行き方…組み立てのわざ)

E児：地図を見つけたことをつばさに教える。(会話文…言葉の使い方のわざ)

教師：「島への行き方」や「地図のことを教えるという会話文」を書き足すと、お話がつながりますね。

F児：こうもりの大群が、すごい速さで追いかけてくるという言葉を書き足すと、2年生がはらはらすると思う。(様子…言葉の使い方のわざ)

教師：様子を表す言葉を入れると、場面の様子が想像しやすくなりますね。

表現のわざ

組み立てのわざ

言葉の使い方のわざ

児童から引き出した書き表し方の工夫を授業では「表現のわざ」と呼びました

イ 書き表し方の工夫を付け足す、分類・整理する

児童が言葉への意識を高め、物語を工夫して書くことができるようにするために、下書きの時間に教師が児童の書き表し方に関する課題を見取り、全体で話し合う場を設けました。そして、話し合ったことを「表現のわざ」に付け足しました。

【全体での教師と児童のやり取り】

「ついに宝を見つけたぞ」をみんなだったらどんな声で言いますか？

大きい声で

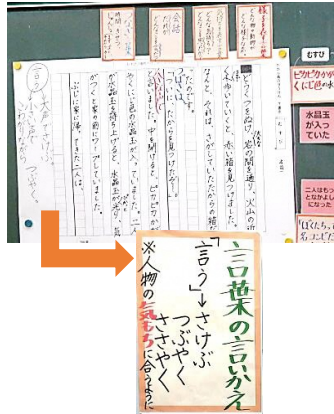
叫ぶ感じ

「言う」で終わっている文は、他にどんな言葉に言い換えられそうですか？

大声で叫ぶ
小さい声で言いました
怖がりながらつぶやく

「言う」を言い換えると、人物の様子や気持ちが伝わりますね

【第8時の板書】



【言葉の使い方のわざ（抜粋）】

- 1 様子を表す言葉
 - ・どのような様子か
- 2 気持ちを表す言葉
 - ・どんな気持ちか
 - ・どんなことを思ったか
- 3 会話文
 - ・だれが、どんなことを話したか
- 4 つなぎ言葉
 - ・時間や季節
 - ・じゅんじょ
- 5 言葉の言い換え
 - ・「言う」の言い換え

「言う」を別の言葉に言い換えられることを全体で共有し、「言葉の使い方のわざ」に付け足しました

ウ 書き表し方の工夫を資料として提示する

児童が書き表し方のよいところや改善点を見付け、適切なアドバイスをし合えるようにするために、推敲の時間に学習者用端末に資料として「表現のわざ」をデータで配付しました。

☆どのようにつづるのか？

③事件がかいけつする

（れい）

・だれが、どうやって？

・どんな道具を使っている？

・その道具は、いつどこで手に入れたの？

・会話

・どんなことを話したり、考えたりしたのかな？

組み立てのわざ

様子を表す言葉

大きさ、長さ、太さ
色・形
数
さわったかんじ
におい
鳴き声
ひょうじょう

①「どんな」「どのくらい」を書き足す。

- ・たから島は、どんなところかな？
- ・出会ったものや動物は、どんな様子かな？
- ・手に入れた たからは、どんな たからかな？



言葉の使い方のわざ



【「表現のわざ」を見ながら推敲する児童】

児童が互いの文章を読み合っってアドバイスをし合う際には、2年生になりきって読むことや、「表現のわざ」を参考に促しました

研究のまとめ

手立て1 三つのピア活動の設定

「相談しタイム」と「読み返しタイム」の様子

相談しタイム

どんな不思議な生物にしようかな？

妖精。小さい背中に羽が生えた。小柄な…

あ、小人！ 小人がいいかも。小人みたいな不思議な…

友達に相談したら、よいアイデアが思い浮かんだ！

読み返しタイム

どうして、「サメがたすけてくれました」に線が引いてあるの？

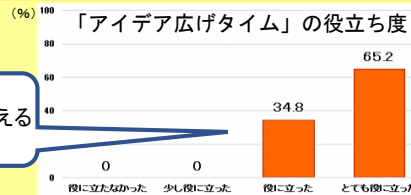
いきなりサメが出てきて助けるのは変だと思ったからだよ。

確かに。人物の紹介の部分にサメのことを書き足そう！

事前・事後アンケートの結果

アイデア広げタイム

児童全員が役立ったと回答。物語の組み立てとあらすじを考えることに有効だったと言える。



相談しタイム

「相談しタイム」の役立ち度

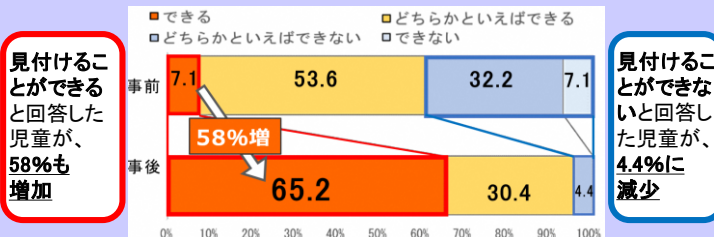
8割の児童が役立ったと回答。困り感を感じたときに友達と相談し合い、解決を図りながら下書きを書いていた。

「とても役立った」及び「役立った」の回答 (%)

第5時	第6時	第7時	第8時
89	81	81	81

読み返しタイム

自分が書いた文章のよさや改善点を見付けることができるか



三つのピア活動を通して、それぞれの過程で生じた困り感を解決することができた

手立て2 書き表し方の工夫について児童とともに考える活動

下書きの変容

書き直しをした児童の下書き（太枠が書き直したところ）

会話文

気持ちを表す言葉

様子を表す言葉

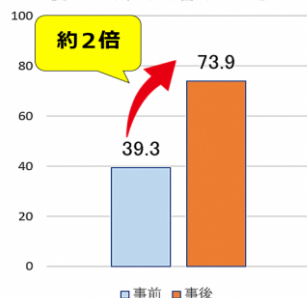
2年生の感想

- ・「早くにげなきや」と言うところが私まではらししました
- ・はじめはどきどき、さいごはうれしい、楽しいでおわってよかったです
- ・二人のしょうかいの書き方がとくに上手です

事前・事後アンケートの結果

国語の授業で文章を書くときに気を付けていること

様子や気持ちを表す言葉などを
使ってくわしく書けているか



つながり言葉などを使って
文と文がつながっているか



3年生の保護者の感想

- ・二人の会話文が楽しく、感情も表現されていておもしろかったです
- ・物語の進み方がとてもスムーズで、主人公たちの気持ちや場面を想像しながら読み進めることができました
- ・出てくるキャラクターはそれぞれ個性があり、どれも魅力的でした

2年生を楽しませたいという思いをもって、書き表し方を工夫しながら物語を書くことができた

成果と課題

【成果】

- 読み手である2年生を強く意識して、書き表し方を工夫する児童の姿が見られるようになった。
- 様子や行動、気持ちや性格を表す言葉を使い、組み立てに沿って物語を書くことができた。互いの作品を読み合い、書き表し方のよさを見付け、達成感を味わっている様子も見られた。
- 2年生に楽しんでもらえただけではなく、保護者にも児童が工夫したことや楽しませたいという思いが伝わった。

【課題】

- ◇ピア活動と書き表し方の工夫について児童とともに考える活動は、一つの単元のみで行うものではなく、一年間を見通して行うことが重要であることを強く感じた。国語科の他の単元・領域においても、継続的・系統的に指導を行い、児童の表現力を高めていきたい。